

3 月例会は「歩いてても 歩いてても」

2012 年度総会は 4 月 26 日

10 周年記念事業が無事終了

加古川シネマクラブは、2002 年 5 月に設立し、7 月から例会事業を始めました。今年の 5 月で設立からちょうど 10 年が経つこととなります。その間、主な活動でも、例会 59 回、主催上映会 7 回の行事を行っています。

この 3 年くらいは、会員数の減少と会費収入の減少で、会の運営が厳しいのですが、会員の皆さんの努力や関係者の協力のおかげで、ぎりぎりのところで、何とか活動ができています。

2011 年度は、10 周年記念事業として、一般の人も参加できる特別例会の形式で、塩屋俊監督を招いての『ふたたび swing me again』と『ミツバチの羽音と地球の回転』の上映会を実施し、無事終了することができました。協力いただいた皆様に深くお礼申しあげます。心配していた経費面では、ふたつの行事を合わせると、少しの黒字となり、会の運営にも役立ちました。また、もっと大規模なイベントをしたいという意見もあったのですが、経費面での心配もあり、規模を小さく抑えたという経緯もありました。

2012 年度は、例会や上映会とともに、7 月 27 日から 29 日まで明石で行われる全国映連映画大学に主催団体のひとつとして協力するなど、この会の目的である映画文化の発展に役立つ活動を、微力ながらも、行う予定ですので、ご意見ご協力をお願いいたします。

例会のお知らせ

■名称／第 59 回例会『歩いてても 歩いてても』

■日時／3 月 23 日(金) ① PM 2:00～、② PM 4:20～、③ PM 6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で 4 箇月分の会費(2000 円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



歩いてても 歩いてても

「歩いてても 歩いてても」チラシ

【例会作品データ】

■タイトル／歩いてても 歩いてても

■監督・脚本／是枝裕和

■出演／阿部寛、夏川結衣、YOU、高橋和也、田中祥平、寺島進、加藤治子、樹木希林、原田芳雄

■データ／2007 年、日本、カラー、1 時間 54 分、ドラマ／ヒューマン、16mm

■解説

『ワンダフルライフ』や『誰も知らない』など、国内外で高い評価を受けている是枝裕和監督作品。成長して巣立った子供たちと老夫婦の、ある一日をスケッチしたホロ苦くも温かな家族ドラマ。老夫婦に原田芳雄と樹木希林、息子夫婦に阿部寛と夏川結衣。家族そろっての食卓風景、墓参りへ向かう歩道、そんな何気ない場面で交わされる会話のひとつひとつから、家族ゆえのわだかまりやいたわりがない交ぜの感情を抱える。その中で揺れ動く登場人物の心の機微を、ユーモアを織り込みつつ辛辣かつ温かな眼差しで繊細に描き出していく。子を持つ親、親を持つ子なら誰もが自分自身と重ね合わさずにはいられない物語だ。

夏の終わりに、横山良多は妻と息子連れて実家を訪れた。開業医だった父とそのあわない良多は失業中のこともあり、ひさびさの帰郷も気が重い。明るい姉の一家も来て、横山家には久しぶりに笑い声が響く。得意料理をつぎつぎにこしらえる母と、相変わらず家長としての威厳にこだわる父。ありふれた家族の風景だが、今日は、15 年前に亡くなった横山家の長男の命日だった。

跡継ぎにと期待した長男に先立たれた父の無念、母の痛み。優秀だった兄といつも比べられてきた良多の、父への反発心。姉は、持ち前の明るさで器用に家族のあいだをとりもつが、子連れで再婚して日の浅い良多の妻は、緊張で気疲れする。

そんな中、良多はささいなきっかけから、親の老いを実感する。ふと口にした約束は果たされず、小さな胸騒ぎは見過ごされる。人生は、いつもちょっとだけ間にあわないことに満ちているのだ。

加古川シネマクラブ「2010 年ベストテン」

2011 年の映画賞が出そろ中、加古川シネマクラブでも昨年度及び一昨年度に引き続き、会員が選ぶ年間映画ベストテンを選定しましたので、下表のとおりベストテンを報告します。

1 月例会を中心に投票をお願いしたところ、13 人の投票がありました。集計方法は、1 位 5 点、2 位 4 点、3 位 3 点、4 位 2 点、5 位 1 点の配点で、単純に得点合計順としました。

投票人数が 13 人とたいへん少なかったのは誠に残念で

偏りがあるかもしれませんが、加古川シネマクラブが選んだ2011年の年間映画ベストテンとして発表します。

順位	作品名 (邦画)	得点
1	阪急電車	20
2	コクリコ坂から	13
3	一枚のハガキ	12
3	神様のカルテ	12
5	八日目の蝉	9
5	星守る犬	9
5	毎日かあさん	9
8	大鹿村騒動記	7
8	僕と妻の1778の物語	7
10	ステキな金縛り	6
次点	犬とあなたの物語	5
次点	エンディング・ノート	5

順位	作品名 (洋画)	得点
1	英国王のスピーチ	20
2	ジュリエットからの手紙	16
3	ブラック・スワン	9
4	クロッシング	8
5	サンザシの樹の下で	6
5	猿の惑星	5
5	四つのいのち	5
5	ヤコブへの手紙	5
5	バビロンの陽光	5
5	カリーナの林檎	5

定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2012年度の定例総会を下記のとおり開催いたします。1年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまには、ご出席いただきますようお願いいたします。

- 1 名称 2012年度加古川シネマクラブ定例総会
- 2 日時 4月26日(木)午後7時から(約1時間)
- 3 場所 加古川総合文化センター会議室1
- 4 内容 2011年度事業報告に関する事
2011年度決算に関する事
2011年度役員を選任に関する事
2012年度事業計画に関する事
2012年度予算に関する事
- 5 参加方法 直接会場にお集まりください。
- 6 その他 当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することによって、出席する会員に議決等を委任することができます。
また、当日、5月例会発送作業の一部も行いますので、作業を手伝ってくださる人は、午後6時30分にお集まりください。

年末始アクション映画三昧(寄稿)

アクション映画大好きな私にとって、年末年始は映画三

昧。『ミッション・インポッシブル』シリーズ4作品目。

『山本五十六』は、東宝1968年三船敏郎主演から43年後、東映作品です。『ワイルド7』1969年少年キングより連載され、好きなコミックの実写版『宇宙人ボール』。

これら見た中で『宇宙人ボール』はよかった!(おもしろかった!!) UFO大好きイギリス人ふたりが、アメリカUFOスポットめぐりを始めた矢先宇宙人に遭遇……一緒にある目的地まで旅をする……。この映画 宇宙人ボールとの出会いがラストまでSFコメディでありながらアクションあり、ハラハラ・ドキドキあり、大スターも出てきて初笑いまちがいなし! (山本芳明)

前回例会の報告

1月25日の10周年記念特別例会は、対岸に持ち上がった原発建設計画に反対を訴える瀬戸内海の小さな島、祝島の人々の暮らしぶりから、日本のエネルギー政策の未来を考えさせるドキュメンタリー作品『ミツバチの羽音と地球の回転』を鑑賞しました。

参加会員121人と一般102人の計223人の鑑賞者数でした。アンケートには、いつもの約3倍の約15名の意見記入がありました。祝島の人たちの考えや行動が人間として素直なもので、共感し支持する内容が最も多く、次に、原発反対とスウェーデンに見習うべきであるというようなエネルギー問題に対する意見、その次に、良質な映画を鑑賞できたことに対する感謝、その他、日本の政治批判という内容でした。

受付では、一般の方の中には、祝島出身者2名が来場したり、原発に対する意見をしっかり持った人がこの映画を絶賛したり、いつもと違う光景を見ることができました。

運営状況

トホホ……。たいへん助かったことに1月特別例会が約8万円の黒字だったため、前回と比べ少し改善され、約4万円の赤字の状態です。

現在の会員数では、毎回約2万円以上の赤字が増えることとなりますので、引き続き会員の皆さんには、映画に興味のあるような人に、この会のことをクチコミで宣伝いただきますようお願いいたします。(事務委員、宮本)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 167人(1月25日現在)